

広島県聴覚障害者センターだより



Hiroshima Chokaku Center

広島県聴覚障害者センター

〒734-0007 広島市南区皆実町1丁目6-29

電話：082-254-0085

FAX：082-254-0087

E-mail minami@hiro-chokaku.jp

URL hiro-chokaku.jp

No.13 2018(平成30)年7月1日発行 (毎月1日発行)

全国聴覚障害者情報提供施設協議会 2018 年度総会 及び施設大会に参加して



6月14日(木)、15日(金)の二日間に渡り、コラッセふくしま(福島市)にて全国聴覚障害者情報提供施設協議会2018年度総会及び施設大会が開かれました。総会・大会には、全国の情報提供施設から約80人の参加があり、広島県聴覚障害者センターからは松岡が参加しました。1日目は総会、施設大会式典、講演・シンポジウムが開かれ、2日目にはブロック会議と全体会がありました。

情報提供施設が抱える課題の一つに電話リレーサービス・遠隔手話サービスの導入があげられます。大会講演も電話リレーサービス・遠隔手話サービスについてでした。講師は、筑波技術大学産業技術学部井上正之准教授です。講演に続き、厚労省自立支援振興室 村山室長補佐、全日本ろうあ連盟 石野理事長、全日本難聴者・中途失聴者団体連合会 新谷理事長によるパネルディスカッションが開かれ、それぞれの立場からの討議が行われました。

電話リレーサービスについては、日本財団のモデルプロジェクトとして実施されていた沖縄・熊本・滋賀の3県に加え、2017年から千葉で開始されています。2018年はそれに4カ所加え、8カ所で実施する予定です。

シンポジウムでは、新谷さんから①すべての音声情報の文字(テキスト)化を ②筆談を社会の文化にという意見が出されました。

石野さんからは、①電話リレーサービスは、通信サービスである「電話」の代替手段であるべき。電話のように24時間、365日対応できるようにすべき。情報提供施設でそれが可能か、厚労省ではなく総務省が担当すべきではないかという問題提起がなされました。

2日目のブロック会議では、中四国9県の情報提供施設による意見交換が行われました。11月～12月に開かれる予定のブロック会議では、災害対策をテーマとすることになり、各県センターの防災対策の課題やブロック間の連携の在り方(手話通訳の派遣、心の支援等)について話し合われる予定です。

大会を前後して、山陽新幹線、東北新幹線にトラブルが発生しました。また、大阪で大きな地震が発生しました。

厚労省は電話リレーサービスの対応時間は施設の開所時間内であり、24時間対応は想定していないとしています。しかし、こうした事故を想定しても、24時間対応とすべきではないか、と考えさせられた大会参加でした。(松岡)

